

博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6 年 中学校	縄文時代
活用資料コーナー及び資料名	川越のあけぼのコーナー 丸木舟	
資料についての解説	入間大橋上流の川越市老袋の入間川左岸より出土した。 全長約 5 0 0 c m、幅 6 0 c m で、材質はカヤの木である。船底が部分的に炭化しており、焼いてくりぬく造船技法により造られたことがわかる。また、船とともに泥炭層からは、ハス、オニグルミ、ヒシの実なども発見された。	
学習内容	縄文時代の人々の生活の様子や知恵	
活用方法	「縄文人になって考えてみよう。」 予想を出し合い、どれがいいかを話し合いながら進めます。 ①舟を作ろうと思います。最初に木を見つけないといけないと思いますが、どこへ探しに行きますか。 ②木がたくさんある場所を見つけました。さて、どんな木を選びますか。 ③いい木が見つかりました。さて、なにを使って切り倒しますか。 ※手がかりになる資料がまわりにあるよ。 ④どのようにして舟の形にしていけるのですか。 ※ こげている部分に気付かせる。 ⑤完成した船に乗るのは、男性？女性？どうしてそう考えるの。	
評価の観点	・舟ができるまでを予想し、縄文人の知恵について考える。 思考・判断 ・道具をよく見て、それができるまでの過程を考えていく方法により、様々な疑問や発見を見つけることができることを知る。 知識・理解	
活用のための留意事項	・教員によるミニ授業の形態が効果的である。	

